



大湯小だより

上越市立大湯町小学校

E-mail ohgata-e@jorne.or.jp

令和5年1月



「撤営」までが「設営」 始業式の校長講話から要約

よく「3学期はまとめの時期」と聞きますが、3学期は3か月もあります。その期間は、1学期や2学期のまとめをするためにあるのでしょうか。そうやってしまうと、もうこれ以上やることができなく、終わりに向かうことを意識してしまい、これ以上成長しなくてもよいように感じます。

私は子供の時、ボーイスカウトをやっていて、キャンプで教えられた言葉です。

【撤営（てっえい）の号令が掛かるまでが設営（せつえい）である】

「設営」はテントを立てその周りを活動しやすく整えていくこと、「撤営」はそれを片付けることです。つまり、片付け始める瞬間まで、ずっと居心地のよい場所になるように工夫し続けなさい、という意味で、今でも時折思い出し、生活の中で意識しています。これを学校生活に置き換えると、「幸せな学校」を目指す歩みはまだ途中で、3学期末の終業式や卒業式までずっと続いているということです。

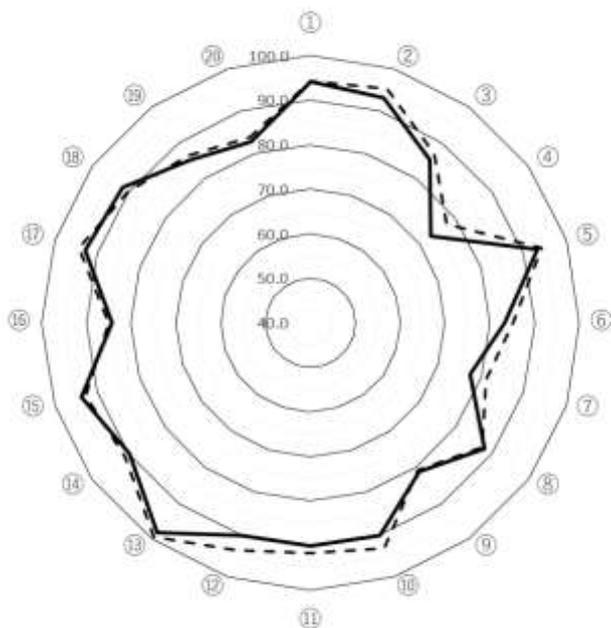
3学期も、みんなで仲良く力を合わせて、大湯町小学校を「幸せな学校」にしましょう。教科書にも学習する内容がたくさん残っています。しっかりと学力を付けてください。また、いろいろなことにも挑戦して、自分の力を伸ばしてください。できなかったことを一つでもできるようにがんばることで成長します。その結果が1年間のまとめになると思います。

HP 随時更新中



2 学期学校評価の結果について

児童アンケートの結果【肯定回答】
(回答者数 395、回答率 98.3%)



- ①授業の内容が分かる。
- ②授業中、先生や友達の話をしっかり聞く。
- ③授業中、自分の考えをノート等書いている。
- ④授業中、考えたことをみんなの前で伝えている。
- ⑤どんどの学習で大湯の地域を学ぶことが楽しい。
- ⑥読書が好きで、本を読むことが楽しい。
- ⑦家で『学年×10分』の勉強をしている。
- ⑧学校に来るのが楽しい。
- ⑨自分から明るい挨拶をしている。
- ⑩学級の当番活動や係活動がんばっている。
- ⑪Jチームの活動では仲良く助け合って活動している。
- ⑫友達に悪口や意地悪をしないですごしている。
- ⑬いじめはどんな理由があってもいけないことだ。
- ⑭自分や友達のよいところを見付けることができた。
- ⑮学校のきまりを守って生活している。
- ⑯自分には得意なことがあり、自分が好きだ。
- ⑰先生は相談を聞いたり、自分を認めたりしてくれる。
- ⑱体を動かすことや体育の授業が好きだ。
- ⑲『早寝・早起き・朝ごはん』で元気にすごしている。
- ⑳家族で決めたメディアの約束を守っている。

保護者アンケートの結果【肯定回答】
(回答者数 368、回答率 91.5%)



- ①子供は学習内容をおおむね理解している。
- ②子供は進んで本を読んでいる。
- ③子供は『学年×10分』の家庭学習をしている。
- ④子供は学校に行くことを楽しみにしている。
- ⑤子供は学校の出来事を話す。
- ⑥子供は明るい挨拶をしている。
- ⑦子供は友達と仲良くすごしている。
- ⑧子供は相手を思いやるやさしい言葉を使っている。
- ⑨子供は自分のことを大切に、自分が好きだと感じている。
- ⑩子供はルールやマナーを守る規律が身に付いている。
- ⑪子供はいじめはどんな理由があってもいけないことだと考えている。
- ⑫子供は進んで運動したり、体を動かして遊んだりしている。
- ⑬子供は『早寝・早起き・朝ごはん』ができています。
- ⑭子供は家族で決めたメディアの約束を守っている。
- ⑮社会で起きている危険な事故等を家庭で話題に取り上げている。
- ⑯教職員は保護者や地域と連携・協力して教育活動に取り組んでいる。
- ⑰教職員はよりよい学校づくりに誠意をもって努力している。
- ⑱教職員は愛と人権の意識をもって、子供たちに接している。
- ⑲ホームページ、学年だより等で、学校の様子が伝わっている。
- ⑳学校は子供たちの登下校の安全確保や緊急時の対応について、保護者や地域と協力している。

1 学期（破線）と 2 学期（実線）に実施したアンケート結果がまとまりました。グラフは「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定回答率を表しています。

児童の評価は多くの項目で肯定回答が9割を超えていますが、④発表の力、⑥読書、⑦家庭学習、⑨挨拶、⑳メディアの約束が課題であることが分かります。

保護者の評価では②読書、③家庭学習、⑥挨拶、⑭メディアの約束について課題であることが分かります。

児童と保護者の評価の課題はほぼ共通しているため、家庭と学校が連携して課題解決に向けて進めていきやすいと考えます。特に冬期は落ち着いて読書や学習ができます。また、メディアの約束に関しても、ただ隔離するだけではなく、「付き合い方を振り返り、使いながら正していく」ことが大切です。

これからも児童、保護者、地域、学校教職員が共に手を携え、「幸せな学校」の実現を目指しましょう。